

# 人生を拓く ②

前田 政敏さん(86)、タカさん(83) 17区西町

東川生まれの政敏さん、両親は東7号の3線で8ヘクタールの畑で農業を営んでいました。当時はえん麦、ソバ、トウモロコシと少々の花弁(かき)栽培。決して豊かな土地ではなかったようです。

農業の傍ら、9年間森林組合に勤め、造林作業にも精を出しました。「山奥でなあ、周りの人も高齢になるにつれて転居していったよ」。

この地に最後まで残っていました。が、森林組合を辞めた後、1976(昭和51)年ごろに市街地区に自宅を建ててふるさとの地を離れました。

若いころから山野に親しみ、森林組合を辞めた後は希少な山野草を栽培して増やし、販売していました。

「昔はシラネアオイが1根千円で売れたこともあったねえ」。

庭づくりを楽しむのが趣味。約400平方メートルの庭にチングルマ、アポ



イ岳のシラカバ、白山のハイマツ、フタリシズカ、ヒトリシズカ、クロユリ、ヤマドリゼンマイ、野生のミツバなど、高山帯の植物、野菜がところ狭し。

「私は父さんを手伝ってきただけ」と話すタカさんは、1956(同31)年、26歳の時に温根別(現士別市温根別地区)から嫁いできました。「いくつ種類があるか数えたことないけれど、父さんはいつも変わったものを試して植えたいと思ってきた」と言います。

かつてのわが家の畑は「山」と呼び、今も良く出かけます。今作っているのはトウモロコシ、シヨウガ、サ

トイモ、サツマイモ。シカが出るから金網を2段にして囲っている。子供たちに分けてやるので、毎年いろいろなものを作るよ」とこれも大きな生きがいです。

## 俳句

和箆笥の引き出しひとつ更衣  
亜麻色の歌が聞こえる夏の庭  
タンポポのわた毛遙かに気まま旅  
ベダル踏むサイクリングロード風薫る  
肋骨を広げ薫風満タンす  
二階から犬が顔出す薫風かな  
風薫る住み処定めて二十年  
父の日に母と語りし父の癖  
リラ冷へを伝えあぐねる手話ニュース  
風薫る友の封書のふくらみて  
幾百の水張田にある百の月  
ふる里の祝の席の夏足袋かな  
タンポポの王冠被って昭和かな  
薫風や眉のやさしき道祖神  
春蟬を聞きしと妻の戻り来る  
けら虫も玩具のひとつグーチョキパー  
ふるさとは緑の大地風薫る  
薫風やそろそろ制服板につき

若田 郁  
本田 咲  
山内 みゆ  
長谷川 きみゑ  
小林 ろば  
高橋 公花  
杉山 ひろのり  
保科 なほ  
徳光 吐苦  
杉山 りつ  
山口 佐知子  
横田 則子  
若田 久  
高瀬 潤  
石澤 清宏  
澤田 久美子  
松山 蓉子  
三島 智

